



発掘調査の出土品ずらり

平成29年～30年度にJR鍛冶屋線跡地から発掘された弥生時代や奈良時代、室町時代の壺や小皿を展示する郷土資料館の企画展「日野北バイパス建設に伴う発掘調査展」を開催中。出土品から古代の暮らしをうかがい知ることができます。

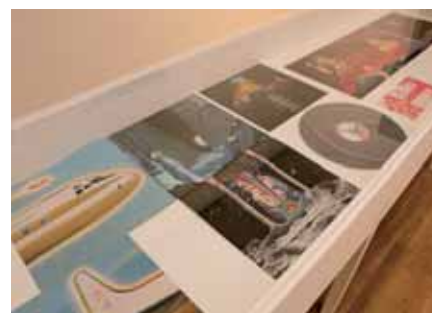
調査では、奈良時代の製塩土器も出土したことから、当時の役所に当たる官衙があったと考えられています。会期は9月30日まで。月曜日と9月20日は休館（9月19日は開館）。入館無料。



盆踊りや屋台、久々の夏祭り楽しむ

「第43回にしわき市・黒田庄夏まつり」に市内外から約2200人が来場。盆踊りや福引、約400発の打ち上げ花火があったほか、会場には31店の屋台が軒を連ね、浴衣姿の踊り手が音頭や太鼓のリズムに合わせて踊ったり、親子連れらが飲食や花火を楽しんだりして祭りを楽しみました。

祭りは令和元年の台風接近と過去2年間の新型コロナウイルス感染拡大による中止を挟んで、4年ぶりの開催。〔8月16日、黒田庄グラウンド〕



「にしわき横尾忠則コレクション」展開幕

西脇市出身で世界的美術家・横尾忠則さんの企画展「にしわき横尾忠則コレクション」展が、岡之山美術館で開催しました。同館での横尾さんの作品展示は3年ぶり、所蔵する作品500点余りから、職員が選んだポスターやレコードジャケット計25点が並んでおり、横尾芸術の魅力に触れることができます。

館内には昭和45年の大阪万博で横尾さんが手掛けたパビリオンのポスター「日本万国博覧会せんい館」や、16世紀の絵画「ガブリエル・デストレとその姉妹」と小説家の澁澤龍彦さんなどのイメージを組み合わせた舞踏家土方巽の公演ポスターなど、1960年代に制作された貴重な作品などが展示されています。

10月30日まで。月曜日と9月20日、10月11日は休館（9月19日、10月10日は開館）。大人300円。



世界平和願い写真展示

「世界の平和を想う」をテーマに、沖縄戦を語り継ぐパネル31点と侵攻前のウクライナの美しい景色を収めた写真33枚などを展示。ウクライナの文化を紹介するとともに、戦争の悲惨さを伝えました。〔8月6～16日、ドウジウム〕



国重文の木造校舎見学

国の重要文化財に指定された木造校舎の見学会に県内外から卒業生や建築愛好家ら約160人が参加。意匠を残しつつ安全な教育施設に改修された校舎を写真に収めたり、職員の説明に耳を傾けたりしました。〔7月31日/西脇小学校〕



夏の思い出づくり

射的やボールすくいのほか、木工品や風車作り、手形アートなどのワークショップを行った「こどもプラザ夏まつり」。市内外から子どもたち154人が参加し、館内を巡りながら遊びや工作を体験しました。〔8月13日/みらいえ〕



高校生が「黒っ娘巻き」作りに挑戦

西脇工業高校家庭部の9人が黒っ娘おぼんざいの巻きずし「黒っ娘巻き」作りに挑戦。作り方のコツを教わりながら、のりと紫黒米の酢飯で玉子焼きなど5種類の具材を丁寧に巻き上げました。取り組みは家庭部が地産地消を学びたいと打診。同団体は「地元食材のおいしさを知ってほしい」と実現しました。〔8月5日/黒っこプラザ〕



市民交流施設オープン1周年

昨年5月にオープンした市民交流施設の1周年を記念して「にしわきあいあいふれあいフェスティバル」が開かれ、西脇高校生や市内の団体が歌や演奏を披露。スカッシュやヨガ、ハンドドリップの体験コーナーのほか、キッチンカーの出店などもあり、会場は多くの家族連れでにぎわいました。〔7月31日/市民交流施設〕